

高齢者の事故を防ぎましょう

高齢者の事故は、高齢者本人だけでなく、ご家族や親せきの方、地域の方など身近な方々の意識で防ぐことができます。
高齢者に起こった事故の事例を紹介します。

① 日常生活における転倒や転落事故

床のコードに引っ掛かり転倒

トースターのコードに引っ掛かり転倒してテーブルに頭をぶつけ出血した。

薄暗い場所で転落

夜中、消灯した部屋で、土間に気づかず50cm下の地面に転落して腕を骨折した。

電動工具で切断

電動カンナで板を削っていた。板が湿っていたため動きが悪くなった。電源を切らずにおがくずを捨てようとして指を巻き込み切断した。

靴下が引っ掛かり転倒

自宅の廊下で靴下が引っ掛かって前に転倒し、大腿骨を骨折した。



剪定作業中に塀から転落

高さ1mの塀に上って木の枝を切っていた。バランスを崩し塀から転落し、剪定はさみで頬を刺した。

アドバイス

小さな段差や電源コードなど、事故のリスクになることがあります。
家庭内の環境を見直しましょう。

- 段差解消用スロープ板や階段の手すりを取り付ける
- 明るい照明器具を増やす
- 床や階段につまずく原因になりそうなものを置かない

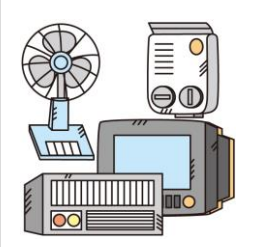
② 身の回りの製品による事故

リコール対象のヒーターによる火災

電気ヒーターから黒い煙が出て発火した。
リコール商品になっていることを知らずに使っていた。

誤った使い方で窒息

家庭用電気マッサージ器のローラー部の布カバーを外して使ったため、衣服がローラーに巻き込まれ、窒息死した。



アドバイス

高齢者が行っている作業を普段から確認しましょう。
いつもと変わったところがあれば、作業を控えるよう呼び掛けることも検討しましょう。

経年劣化やリコール情報に気づかず使い続けていることがあります。また、高齢者がひとりで使っている製品の場合、間違った使い方をしても気づかないことがあります。**高齢者が使っている製品に故障や不具合がないか、リコール対象製品でないか、誤使用はないかなどを確認しましょう。**

③ 誤飲・誤食など

漂白剤を誤飲

洗面所で、うがい薬と間違えて塩素系漂白剤を口にふくんでしまった。

スライム状のおもちゃを誤飲

孫が作ってカップに入れていたスライム状のおもちゃを食べてしまった。



アドバイス

普段食料品があるところ、洗面台など普段うがいなどをおこなうところに**誤飲するおそれのあるものは置かない**ようにしましょう。
ペットボトルやカップなど通常食料品を入れる容器などに、**誤飲するおそれがあるものを入れて保管しない**ようにしましょう。